

地方創生交付金対象事業の効果検証について

交付対象事業の名称/事業概要/実施内容	交付金 充当額(千円)	重要業績評価指標(KPI)※令和5年3月末			事業の評価
		評価指標	R4年 実績値	R4年 目標値	
<p><地方創生推進交付金> 日本一細長い半島のICTを活用した地域商社『佐田岬モデル』確立プロジェクト</p> <p>■事業概要 ①伊方町魅力創出事業 自然景観を活かしたのものや、農業や漁業の体験、文化や歴史を体感するツアーなどの商品造成支援を、町内の事業者や個人を対象に実施する。また、それらコンテンツを効率的に管理運営できるようなシステムを開発する。既存の事業者やこれからの担う若い世代に対しては、デジタルマーケティングなど、個人での発信力を高めるためのセミナーも実施する。 ・人材育成(体験ツアー/デジタルマーケティングに関するセミナー/研修の実施) ・システムの開発と運用(体験コンテンツのマッチングや予約や連絡管理) ・ツアー造成の企画(農業/漁業/文化/スポーツなど幅広いテーマでアイデアソンやモニターツアーを実施) ②伊方町魅力発信事業 伊方町の特産品や観光について、首都圏に居住の方向けに商業施設にてPRを行う。 ・イベントの企画及び運営(首都圏の有名商業施設) ・柑橘の収穫が本格的に始まる少し前=10月下旬頃に、東京駅に程近い新設の商業施設「東京トーチ」にて出展。柑橘や魚介、特産グルメの紹介を行い来場者向けにPRを行う。(みかんの試食や子供向けのみかん狩り体験など) ・デジタルパンフレットの制作及び配布(特産品や観光情報の発信のためのデジタル広報誌) ・町の特産や観光ツアーなどの紹介を行うECサイトの構築</p>	<p>国費実績額 4,020,804円</p>	事業者の観光業への参画数	77件	15件	<p>1. KPI達成に有効であった</p>
		事業を通じた売上高	270千円	2,000千円	
		年間ふるさと納税額	34,626千円	25,000千円	
		体験ツアーの参加数	168人	50人	
<p>補足説明</p>	<p>KPI①: 当初の予定通り推移しており、引き続き計画通り事業を実施する。 新たな支援やイベントを通して新規事業者の参画を促進する。 KPI②: 当初の想定を下回っており、事業見直しが必要。 ふるさと納税の寄付額は増加傾向であり一定のPR効果はあったものの、直接販売に関しては想定集客数を下回るなど、開催方法や時期の見直し、更なる参画事業者の拡充を検討する必要がある。 魅力創出事業については、効率化の観点から研修及びPRIにかかる費用を減額し、ツアー造成、モニターツアーの企画広報費を増額することで、KPI達成に向けて事業を実施する。魅力発信事業については、首都圏でのイベント規模を縮小することにより減額とするが、KPI達成に影響のない範囲での変更である。 KPI③: 当初の予定通り推移しており、引き続き計画通り事業を実施する。 ふるさと納税による寄付額は昨年度と比較しても増加する見込みであるため、さらなる目標に向けて、リピーターの獲得や、商品の充実を図る必要がある。 KPI④: 当初の予定通り推移しており、引き続き計画通り事業を実施する。 体験プログラムメニューの拡充と新規参加者の確保を図る。なお、交通動態調査分析事業については、効率化により、人工知能によるデータ収集期間を短縮することにより減額とするが、KPI達成に影響のない範囲での変更である。</p>				